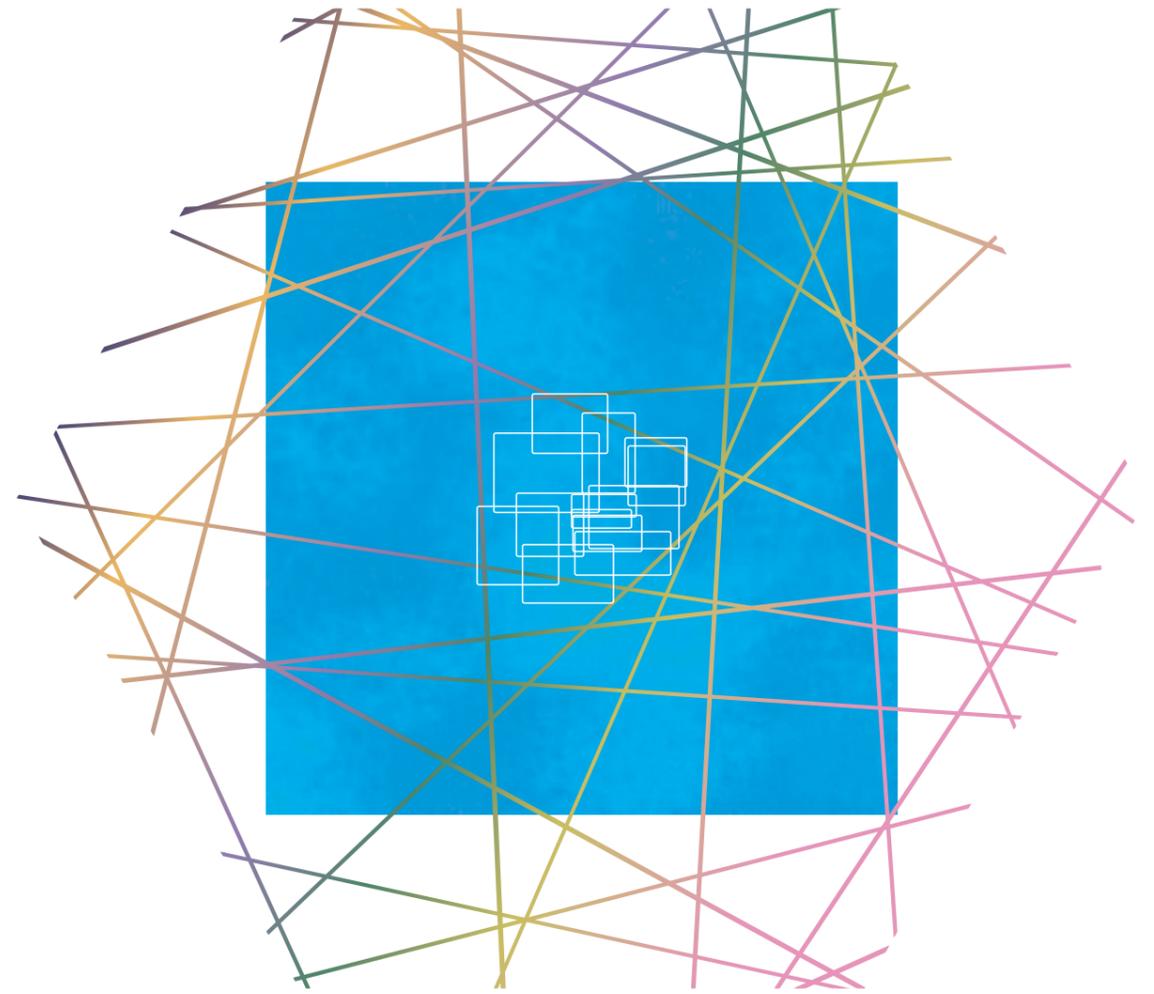


SOCIALDESIGNWORKS



ANNUAL REPORT  
2018.1-12

## SOCIALDESIGNWORKS

### 代表メッセージ

# 福祉は拡張する

代表理事 北山 剛

## Message

地域へのアプローチを広げていくと、引っかかる網が広がる。知ることで別の世界が広がり、これまでとは違う人生を歩むことができるのと同じように、法人や組織だって、外部からの働きかけで変容し、これまでとは違った組織に育っていくのではないだろうか。その意味で言えば、専門的な担い手だけではなく、むしろ専門外とつながらなければいけない。社会は私たちが思うよりずっと広いし、様々な人たちが構成されているからだ。

ぼくは、もはやこの福祉の業界において、「個別支援の質」で他の法人と差別化することはできないと感じている。もっと言えば、個別支援の専門性で評価される時代は、もう終わっているとすら考えている。地域の中にこれだけ事業所が増え、株式会社も障害福祉に参入して来ると、個別支援の質は均質化されていかざるを得ない。その時重要なのは福祉外へのアプローチだ。もちろんこれは「差別化」の話なので、決して「個別支援の質を下げてもいい」という話ではない。個別支援の質を高めることだけでは「施設に来てくれる人」しか対象にならない。そうではなく、「家から出ることのできない人」や「そもそもまだぼくたちのことを知らない人」にも働きかけていこう、ということなのだ。

家に引きこもりがちの方が「ソーシャルスクエアのような施設があるならちょっと行ってみたいな」と思った、その時点で間接的にアプローチできていることになる。つまり、「行ってみようかな」と思ってもらえた時点で立派な福祉なのだ。必要なのは目の前の利用者に対する福祉だけではない、ということでもある。福祉とは、施設外にも広がっていくものだ。これが「拡張福祉」。関わる人、伝える対象がどんどん広がっていく福祉。1を10にするような、専門性を高めていく福祉だけでなく、福祉の概念を広げて0から1を作るような福祉が、今求められているのではないだろうか。

ごちゃまぜのまちづくり活動も、広い意味で拡張福祉である。利用者や地域の人たちだけではない。楽しみや喜びを感じているのは、働いているクルーも同じなのだ。ポジティブの種のようなものが外部へと広がって、結果的に組織内外への福祉になっていく。ぼくたちの掲げるビジョンである「諦めない社会」を作っていくためには、この外部へのアプローチが絶対に欠かせない。

施設の外にいる人が、「スクエアに行ってみよう」と思ってくれる。それも福祉だし、そうした外側にいる人たちを巻き込んでまちづくりイベントを行って、地域の人たちや働くスタッフがやりがいや楽しみを感じてくれる。それも福祉。福祉は、こうしてどこまでも外側に広がって、誰かの幸せを作っていくものであるはず。ならば、ぼくたちはこれからも、拡張する福祉を現場から押し出していかなければならないし、それこそ、2019年のソーシャルデザインワークスの目指すべき方向だと信じている。

#### 代表理事 | 北山 剛 プロフィール

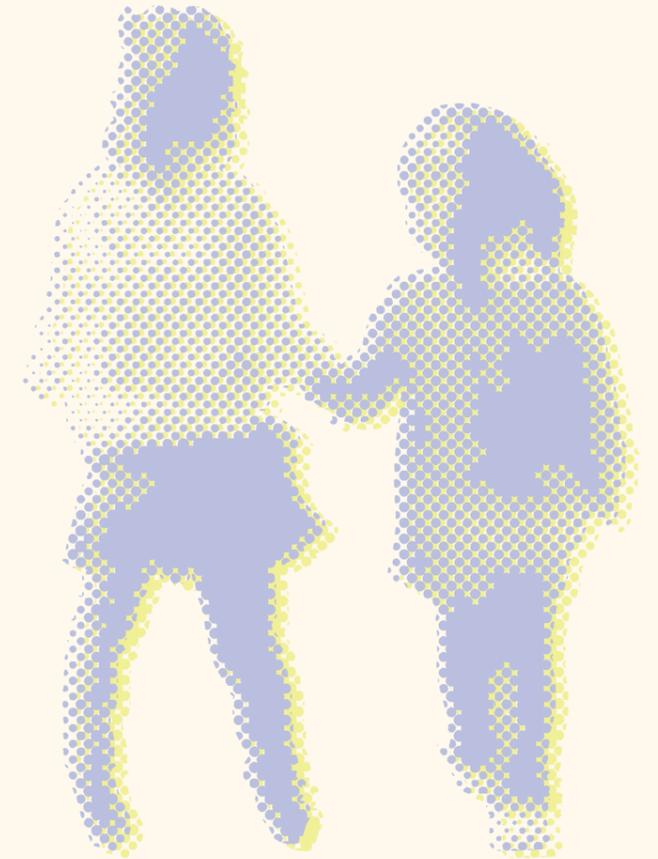
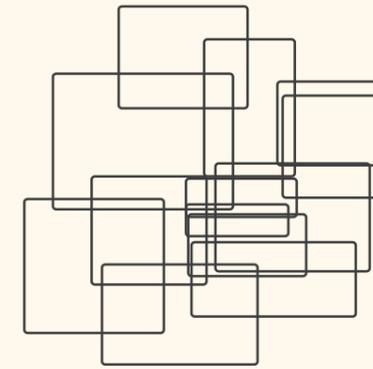
1979年福島県いわき市生まれ。東北大学工学部卒業、同大学院情報科学研究科修了。2005年12月、障害福祉事業を柱とする株式会社LITALICO(2017年3月東証一部に上場)の創業メンバーとして26歳で参画。約10年間にわたり社会的課題をビジネススキームで解決していくソーシャルビジネスが成り立つことを実績で示す。2015年3月同社から独立。地元福島県いわき市で障害福祉事業を起業。2017年1月、地域から後押しされる形で特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス設立、代表理事に就任。障害福祉サービス事業を軸に多様なごちゃまぜの世界観を地域の方々と共に創り、全国の地方都市展開を目指している。

## 私たちの理念

# すべての仲間の 幸せを追求すると共に 諦めのない社会を創る

“仲間”同士が感謝しあい、お互いの幸せを求め協力しあう風土と  
多様な考え、様々な働き方を尊重しあい、応援しあう文化を醸成していく  
チームとなって幸せを追求し、社会に対して発信していくことで  
多様性を認めあう人たちが、日本に、世界に溢れて行ってほしい

社会にある様々な分野において、常識や慣習、あたりまえにとらわれ  
もし、その現状に諦めていることがあるならば、私たちはそこに目を向ける  
既成概念を取り払い、別の視点からその社会のあるべき姿を考える  
諦めざるを得ない理由、出来ない理由を挙げるのではなく出来る方法を考える  
私たちが諦めずに行動をしていくことが多くの人たちの勇気となり  
それが多くの人たちの人生の豊かさになるような、諦めのない社会を創る



## 創っていききたい社会

生まれ育った街の違いが 人生の格差にならない社会  
地域全体が自然に障害福祉に関わり 障がいの有無を意識しない社会  
障がいのある当事者やご家族が生きやすく 引け目を一切感じない社会

## 私たちが目指すこと

一人でも多くの生きにくさを抱える方々の就職・復職と職場定着  
地域社会の障害への理解と多様なごちゃまぜの世界観  
幼少期の障害体験教育による価値観形成と20年後の社会観変化



SOCIALDESIGNWORKS

## 活動内容



**SOCIALSQUARE**

障害福祉サービス事業を提供している、多機能型福祉事業所です。障害のある方、生きにくさを抱えた方の「働きたい」「自立した生活がしたい」を応援し、社会との接点になる場です。2018年12月現在、SOCIALSQUAREを3店舗展開しています。



**ごちゃまぜ®**

障害の有無、年齢、性別、国籍、性的指向などのあらゆる違いは関係なく、みんなで一緒に楽しむ場作りを「ごちゃまぜまちづくり」と呼んでいます。様々なイベントの企画・運営を、地域の方々と共創しながら行っています。



**GOCHAMAZE**  
times

私たちの活動のほか、インタビューや対談記事などを、webと紙媒体で発信しています。今まで障害福祉に興味のなかった方、そもそも福祉を知るきっかけがなかった方にも届けられるような、媒体を制作しています。

# SOCIALSQUARE

障害のある方や生きにくさを抱えた方の「働きたい」「自立した生活を送りたい」という思いを応援し、社会との接点をつくる場です。日々通所されるメンバーさんひとりひとりが、希望する仕事や生活が送れるよう、クルーと呼ばれる支援員が、ビジネスやセルフコントロールのスキルを高めるためのカリキュラムを提供しています。その他、定期的にまちの清掃活動をしたり、地域主催のイベントに参加をし、社会との接点を持つための工夫を日々行っています。そのような場が福島県いわき市から兵庫県西宮市、熊本県熊本市と広がっています。



SOCIALSQUARE 開所 (熊本県熊本市)



スクエアマネージャー  
緒方 豪太

熊本にもSOCIALSQUAREが開設されました。自立訓練と相談支援を併設しています。カフェのような雰囲気できれいに立ち寄れる場所です。是非見学に来てください!!



2018年実績  
就職者 12名

2014-2018 累積  
就職者 34名  
定着者\* 23名  
※動続6ヶ月以上

いわき店の就労移行支援サービスを利用し、就職されたK.Kさん(左)担当クルー佐々木(右)

## 2018 News

SOCIALSQUAREの  
ロゴが  
新しくなりました



濃淡が異なる3つの正方形にはそれぞれ意味があります。一番大きい正方形は社会を表し、一番小さく色が濃い正方形は私たちソーシャルスクエアを表しています。そして、真ん中がソーシャルスクエアのある地元や身近な地域を表しています。活動拠点であるソーシャルスクエアから、想いを少しずつでも大きな社会に伝播させていきたい、そんな願いを込めて作りました。



グリーンバードいわきチームは、2015年12月から定期的にまちの清掃活動を行っています。その他、地域のイベントやお祭りにも参加をし、ゴミ拾いを通じて地域の皆さんと交流もしています。



7月|いわき店 フラダンス教室

## Jointcare



4月|いわき店 ジョイントケア (カラダの動きが楽になるケア)

## Guest Seminar



9月|西宮店 ライフスタイル談話《日本ではたらくドイツ人をゲストに》

# ごちゃまぜ®

障害の有無、性別、年齢、国籍、文化、人種や宗教、性的指向などあらゆる違いのある人が存在するのが社会です。

そんな当たり前のことを再確認し、違いを恐れずお互いを知って認め合おうという「態度」のようなものを、私たちは「ごちゃまぜ」と表しています。

福祉のため、障害者のためといった要素を限りなくゼロにして、あらゆる違いを関係なく、みんなで一緒に楽しむ「ごちゃまぜまちづくり」の企画・運営を地域の方々と共創しながら行っています。



9月 | 浴衣の基礎を学んで着付け体験 (共創: いわき市役所文化振興課、金澤翔子美術館)

## 2018 News

ごちゃまぜ参加人数が  
1,000人を超えました

2015年11月から始まった、「ごちゃまぜまちづくり」。これまで食やスポーツなど、様々なジャンルやテーマで、イベントを開催してきました。各方面で活躍されている方々とコラボレーションもさせて頂き、2015年~2018年までで、1,115名の方々にごちゃまぜを体感して頂きました。



2018年実績  
ごちゃまぜ体感人数  
子ども **184**名  
大人 **317**名  
合計 **501**名

2015-2018累積  
子ども **310**名  
大人 **805**名  
合計 **1,115**名

10月 | ユニバーサルデザインワークショップ「和太鼓にチャレンジ」(共創: いわき市役所市民生活課、一打の会 仁風)

3月  
開催

スポーツイベントより



目の見えない人の気持ちは“こうなんだ”って思ったので、とてもよかったです。そして楽しかったです。(小学5年生 Aくん)

7月  
開催

うちわ・せんすイベントより



いつもは子ども中心のイベントに参加することが多くて、大人が無心になれるイベントがなかなかないので、大人が一番楽しかったです。(イベント初参加のMさん)

いわき市役所文化振興課主催、金澤翔子美術館、NPO法人ソーシャルデザインワークスの共同企画で行った「みんなが主役」芸術文化体験交流事業の様子です。(P9掲載写真)

いわき市遠野にある金澤翔子美術館を会場とし、“日本伝統文化”をテーマのもと、様々なワークショップを実施しました。

それらのすべてのワークショップの中に、当法人のごちゃまぜの世界観を融合させ、子どもから大人までたくさんの方々と交流しました。



6月 | 柏餅作り&新茶の試飲 (共創: いわき市役所文化振興課、金澤翔子美術館)

Summer  
Festival



8月 | スクエアフェス~夏祭り《地域みんなで集まって夏の思い出を作ろう》

Railway  
Town



1月 | 西宮店 《小さな街づくり一街をつくって電車を走らせようー》

# GOCHAMAZE times

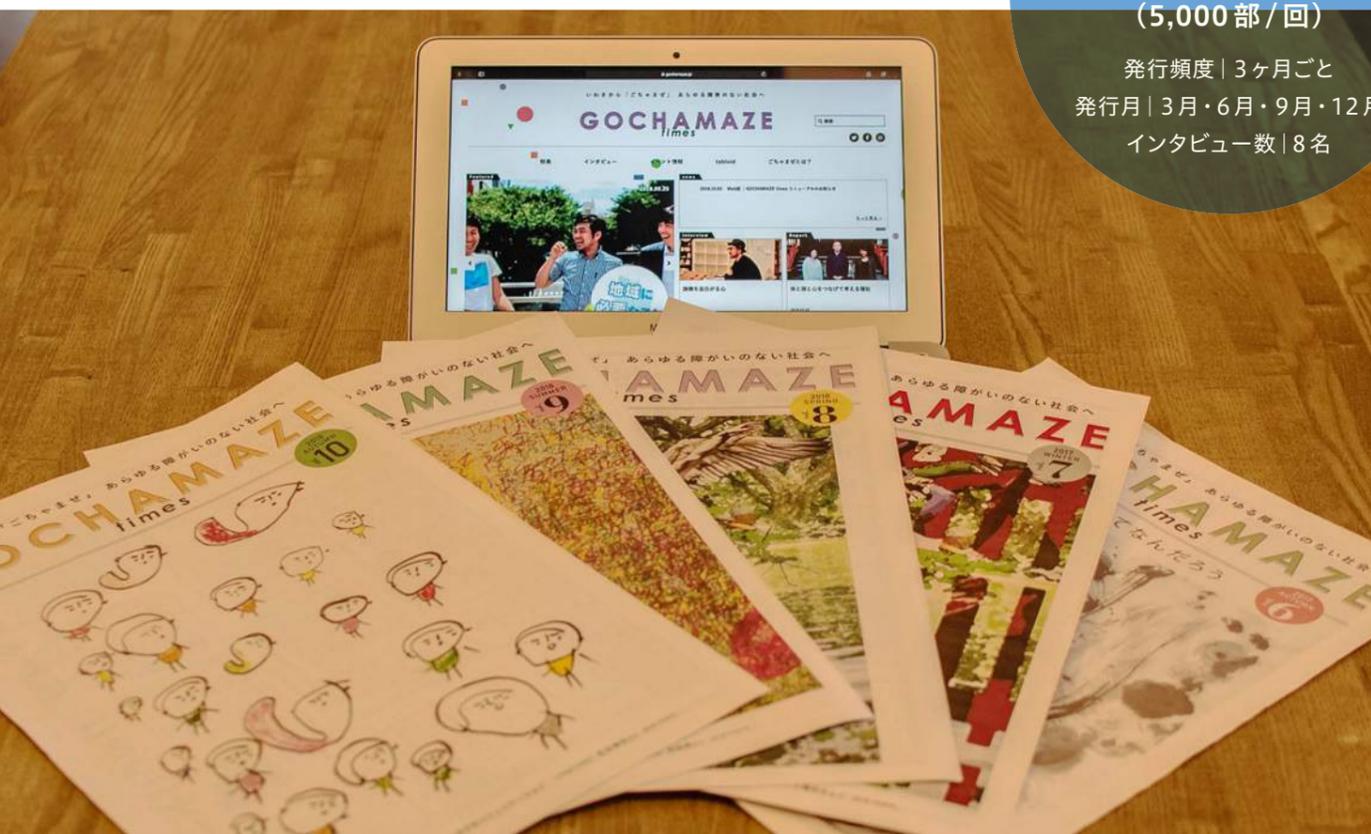
私たちは、今まで福祉や障害の分野と接点のなかった方たちに、“まずは知ってもらう”を目的に、広報誌 GOCHAMAZE timesとウェブマガジンを展開しています。紙とインターネット、それぞれが持つ利点を最大限活用することで、どこにいても、“知るという機会”を社会に提供し続けていきたいと考えています。

情報発信をする中で、様々な立場で活躍されている方にインタビューも行っています。その過程を経ることで、私達もその分野について“知る”を繰り返しながら、障害や福祉との交わり方を模索しています。

2015-2018  
累計発行部数  
**50,000**部

2018年実績  
発行部数  
**20,000**部  
(5,000部/回)

発行頻度 | 3ヶ月ごと  
発行月 | 3月・6月・9月・12月  
インタビュー数 | 8名



## 2018 News

ウェブマガジンが  
新しくなりました

## Renewal Point 01

ブランディングのため、全体のデザインをブラッシュアップしました。ごちゃまぜとしての色を大切にしつつ、色によるまとまりが出て、さらに分かりやすくなるよう色で統一感を出しました。

## Renewal Point 02

各種コンテンツが利用しやすいように、高い視認性と利便性の向上を図りました。タグクラウドやコンテンツごとの枠組みを再整理し、わくわくするような、そしてわかりやすく論理的な情報構造になっています。

## INTERVIEW



大場 奈央

フリーコンサルタント

生き方や働き方が多様になること。それができてようやく他の人の選択や個性や考えの違いが受け入れられる社会になっていくと思います。



岡 勇樹

NPO法人Ubdobe  
代表理事

ごちゃまぜな状況が当たり前だよねって思っていれば当たり前だし。福祉っていう言葉もそうですよね。定義をしたことはいいことだと思うけど、一番大事なことじゃない。



北林 由布子

イタリアンパールLa Stanza  
オーナーシェフ

この場所だからこそやんなきゃいけないことがある、そこで何事もなく店を続けていくことはしたくないって思ったんです。



園部 義博

NPO法人地域福祉ネットワークいわき  
事務局長

自らの意思で暮らすことのできる社会を実現したいんです。そういう社会づくり、地域づくりを通して、いわゆる寄り添い型の支援も可能になっていくと思います。



松田 崇弥

株式会社ヘラルボニー  
代表取締役社長

ネガティブなものが、なぜかポジティブなもの、ユーモラスなものとして感じられてしまう。そういう価値の転換というか、そのくらい振り切れたことをしてみたいんです。



高木 市之助

グラフィックデザイナー  
アートディレクター

物作りを通じて社会と向き合うということ、課題を面白がっちゃうというところで、アートもデザインも共存してるのかもしれないね。



こちらのページに掲載しているインタビューは、すべて一部抜粋しております。全文は、ウェブ版GOCHAMAZE times もしくは、こちらのQRコードからご覧頂けます。

# みなさんと創っていききたい

NPO法人ソーシャルデザインワークスは、「すべての仲間の幸せを追求するとともに諦めのない社会を創る」を理念として掲げています。ここで指す仲間とは、障害のある当事者、地域の方々、生きにくさを抱える方などあらゆる人達のことを指しています。その人達、それぞれが感じる幸せをみなさんと一緒に探し、人生がより豊かになるための選択肢を創っていききたいと考えています。  
みなさんのご協力をお願い致します。



## ○知ってみる ○SNSアカウントのフォロー

私達の事業活動を、写真や動画盛りだくさんで、お伝えしていきます。  
どれか1つでも構いません。まずは知ってみる。  
を体感してみてください。

特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス  
 @GochamazeTimes



## ○発信してみる ○ごちゃまぜ先生募集

ごちゃまぜを体現していく1つの方法として、イベント企画も行っています。  
ごちゃまぜのキーワードを通して、みなさんが伝えたい事、知ってほしいことを講師の立場から、発信してみませんか？

▶ <https://sdws.jp>



## ○送ってみる ○モノで応援

自分では使わないけど、捨てるのはもったいないな…というモノありませんか？  
それらのモノを寄付していただき、支援の現場やイベントの場でも活用したいと考えています。

ご支援  
ありがとう  
ございます

本

・小説

11点

衣服類

・子供服  
・バッグ

50点

食器類

・コップ  
・お皿

20点

文房具類

・ネックストラップ  
・色鉛筆・便箋  
・マスキングテープ

59点

その他

・コーヒーマーカー  
・iPhone6  
・のど飴

## 会員募集

個人賛助会員

入会金 0円

年会費

一口: 5,000円



## 特典

### 1. 会員認定キット

お礼のメッセージ、法人オリジナルノベルティー、ごちゃまぜメディカルハーブティー

### 2. GOCHAMAZE times(ごちゃまぜタイムズ)の先行定期購読

年2回の頻度で発行しているタブロイド。  
発行日の1週間前にお手元に届きます！



好きなタイミングで応援できる、  
ワンタイム寄付も大歓迎です。  
事業継続のために役立てさせていただきます。

お礼をお伝えしたいので、寄付をして頂いた方は、ホームページのお問い合わせから、ご連絡を頂けると幸いです。▶ <https://sdws.jp/>

## 振込先

ゆうちょ銀行

口座記号番号: 10130-68794801

支店名: 〇一八店(ゼロイチハチ店)

口座番号: 普通 6879480

名義: 特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス  
[トクヒ) ソーシャルデザインワークス]

みずほ銀行

支店名: いわき支店

口座番号: 普通 1322674

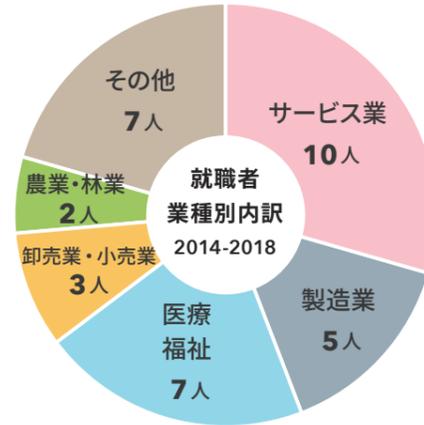
名義: 特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス  
[トクヒ) ソーシャルデザインワークス]

## 実績一覧

### SOCIALSQUARE

各拠点ごとの就職者実績

1月1日	いわき店	医療・福祉サービス業
1月11日	いわき店	事務代行サービス業
3月1日	いわき店	医療・福祉サービス業
3月22日	西宮店	生活関連サービス・娯楽業
4月1日	いわき店	生活関連サービス・娯楽業
4月9日	いわき店	スポーツ用品製造業
4月9日	いわき店	製造業
6月27日	西宮店	生活関連サービス・娯楽業
9月1日	いわき店	卸売業・小売業
12月1日	いわき店	運送・郵便業
12月4日	西宮店	医療・福祉サービス業
12月11日	西宮店	官公庁



### GOCHAMAZE times

GOCHAMAZE times 発行実績

Vol.8 | 3月  
進んでいますか？あなたの会社の雇用多様性

Vol.9 | 6月  
ごちゃまぜのいろは

Vol.10 | 9月  
ごちゃまぜ的コミュニケーション

Vol.11 | 12月  
作品から見るごちゃまぜ

#### インタビュー・対談実績

2月	フリーコンサルタント   大場奈央
2月	ヨガインストラクター   藁外弘子, 菩提院副住職   霜村真康
6月	NPO法人Ubdobe代表理事   岡 勇樹
6月	イタリアンバルLa Stanza (スタンツァ) オーナーシェフ   北林 由布子
6月	NPO法人地域福祉ネットワークいわき 事務局長   園部 義博
9月	えんがわの家 よってこしもだ   増井佐緒里, 黒須悟士
10月	株式会社ヘラルポニー代表取締役社長   松田 崇弥
12月	グラフィックデザイナー/アートディレクター   高木 市之助

### ごちゃまぜ® ごちゃまぜイベント

1月27日	小さな街づくり一街をつかって電車を走らせよう	参加者人数：67	新規参加者：67
2月24日	スクエアフェス～プレイベント～	参加者人数：50	新規参加者：40
3月3日	きらめけスポーツ体験イベント	参加者人数：70	新規参加者：60
6月10日	柏餅を作って、新茶と一緒に楽しもう！	参加者人数：37	新規参加者：23
7月22日	夏の風物詩うちわ・せんすの絵付体験	参加者人数：35	新規参加者：15
8月18日	第1回スクエアフェス	参加者人数：42	新規参加者：16
8月24日	まだやっています。夏の思い出作り～ソーシャルスクエアで憩う～	参加者人数：55	新規参加者：55
8月26日	いわきのじゃんがら念仏踊りをみんなで体験して楽しもう！	参加者人数：17	新規参加者：15
9月16日	浴衣の基礎をみんなで学んで、着付け体験しよう！	参加者人数：23	新規参加者：10
11月18日	消しゴムはんこを手作りして、一足先に年賀状も書いてみよう！	参加者人数：20	新規参加者：6
11月23日	UDワークショップ和太鼓にチャレンジ～みんなで音楽を奏しよう～	参加者人数：55	新規参加者：45
12月1日	第2回スクエアフェス	参加者人数：58	新規参加者：29
12月9日	ミニ門松を手作りして、お正月を迎えよう！	参加者人数：24	新規参加者：16

#### メディア掲載

2月2日	igoku ホームページ (代表理事インタビュー)
9月20日	とっぴい第95回 (Vol.49 コラム)
10月31日	大塚新聞 (WEBマガジン)
定期連載	ハイマガジン (グリーンバードいわきチームコラム)

#### 講演実績

9月28日	RYOZAN PARK LIVE にゲストスピーカーとして登壇
10月21日	いわき市主催ユニバーサルデザイン推進セミナー (法務省委託事業) トークセッション

#### 助成金・委託事業

まち・未来創造支援事業補助金 (いわき市 市民協働部 地域振興課) 2017年～2年連続  
 ふくしま未来基金 まちづくり草の根助成 (公益社団法人パブリックリソース財団)  
 「みんなが主役」芸術文化体験交流事業業務委託 (いわき市 文化スポーツ室 文化振興課)  
 第90回リユースPC及び第6回プロジェクター寄贈プログラム (認定NPO法人イーパーツ)

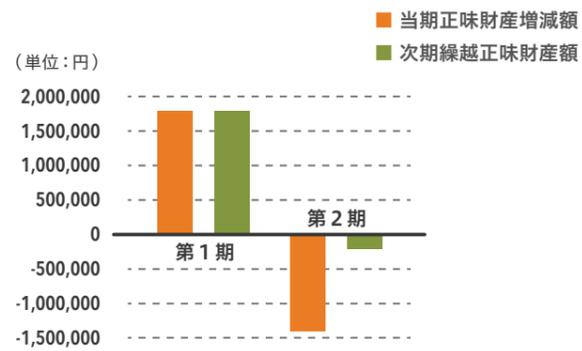
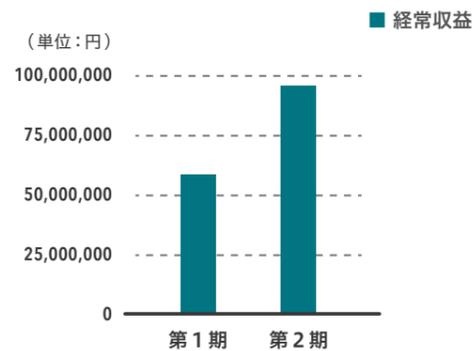
# 決算報告

## 貸借対照表 (2018年12月31日現在)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	29,951,151	1. 流動負債	30,751,940
2. 固定資産	594,000	2. 固定負債	0
3. 繰延資産	0	<b>負債合計</b>	<b>30,751,940</b>
<b>資産合計</b>	<b>30,545,151</b>	<b>III 正味財産の部</b>	
		前期繰越正味財産	1,798,161
		当期正味財産増減額	△ 2,004,950
		<b>正味財産合計</b>	<b>△ 206,789</b>
		<b>負債及び正味財産合計 (II + III)</b>	<b>30,545,151</b>

## 活動計算書 (2018年1月1日-12月31日)

I 経常収益		II 経常費用	
1. 受取会費	0	1. 事業費	
2. 受取寄付金	50,000	(1) 人件費	53,798,036
3. 受取助成金等		(2) その他経費	33,888,720
受取民間助成金	861,320	<b>事業費計</b>	<b>87,686,756</b>
受取国庫補助金	2,701,114	2. 管理費	
4. 事業収益		(1) 人件費	5,570,217
SOCIALSQUARE 事業収益	90,183,406	(2) その他経費	3,235,249
ごちゃまぜイベント事業収益	0	<b>管理費計</b>	<b>8,805,466</b>
ごちゃまぜタイムズ事業収益	0	<b>経常費用計</b>	<b>96,492,222</b>
5. その他収益	1,287,132	<b>税引前当期正味財産増減額 (I - II)</b>	<b>△ 1,409,250</b>
<b>経常収益計</b>	<b>95,082,972</b>	法人税、住民税及び事業税	595,700
		前期繰越正味財産額	1,798,161
		<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>△ 206,789</b>



# 法人概要

法人名	特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス
設立日	2017年1月11日
本部所在地	福島県いわき市内郷内町水之出17
目的	この法人は、広く一般市民に対して、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく事業、障害者の社会参加を啓発する事業等を行い、年齢・性別・国籍・障害の有無を意識しない社会を目指し、公益に寄与することを目的とする。
事業内容	この法人は、上記の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。 (1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 (2) 障害者の社会参加のための企画及び運営に関する事業 (3) 障害者の社会参加の啓発及び情報発信に関する事業
代表者	代表理事 CEO 北山剛
人員構成	理事3名、監事1名、クルー24名、チームパートナー10名 (2018年12月31日現在)
ホームページ	<a href="https://sdws.jp/">https://sdws.jp/</a>
リクルートページ	<a href="https://recruit.sdws.jp/">https://recruit.sdws.jp/</a>

**SOCIALSQUARE いわき店**  
OFFICE いわき本部  
〒973-8404  
福島県いわき市内郷内町水之出17  
ソーシャルスクエアビル1F (2F:OFFICE)  
TEL 0246-84-8301 FAX 0246-84-8302

**SOCIALSQUARE 西宮店**  
〒662-0857  
兵庫県西宮市中前田町1-27 ラビットビル1F  
TEL 090-8377-4839 (事業所用携帯)  
FAX 050-3153-3843

**SOCIALSQUARE 相談支援センター SOCIALSQUARE**  
〒862-0956  
熊本県熊本市中央区水前寺公園3-4  
土山天祐堂ビル2F  
TEL 070-7587-9202 / 070-7660-4722  
[SOCIALSQUARE / 相談支援センター SOCIALSQUARE]  
FAX 050-3153-0203

**TOKYO Lab.**  
〒170-0005  
東京都豊島区南大塚3-36-7 南大塚T&Tビル5F